

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月29日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山口 賢二
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経理財務企画室長（氏名）高瀬 智之（TEL）03-6853-7317
 半期報告書提出予定日 2026年11月12日 配当支払開始予定日 2026年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	86,532	14.4	771	△31.2	436	△62.9	64	△89.3
2026年3月期中間期	75,657	27.8	1,120	—	1,177	—	596	—
(注) 包括利益 2027年3月期中間期 2,113百万円（—％） 2026年3月期中間期 △944百万円（—％）								

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	1.47	—
2026年3月期中間期	13.68	—

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	214,385	94,806	41.9
2026年3月期	220,292	94,150	40.6

(参考) 自己資本 2027年3月期中間期 89,903百万円 2026年3月期 89,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期	—	45.00			
2027年3月期(予想)			—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	245,000	16.8	17,500	35.9	17,300	31.3	12,000	31.3
								274.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期中間期	44,258,500株	2026年3月期	44,258,500株
2027年3月期中間期	572,644株	2026年3月期	598,014株
2027年3月期中間期	43,670,186株	2026年3月期中間期	43,647,086株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(企業結合等関係)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済状況は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調となりました。また、世界の経済状況は、一部の地域において足踏みがみられるものの緩やかな持ち直しが続きました。一方で、中東情勢や金融資本市場の変動、米国の政策動向による影響等、景気の下振れリスクが懸念されました。

このような状況のなか、当社グループは、2027年度(2028年3月期)を最終年度とする「中期経営計画2027」の達成に向けて、「①各事業分野の成長戦略」「②企業価値向上に向けた投融資戦略」「③サステナビリティに関する取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでいます。

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、次表のとおりとなりました。

売上高は順調に推移し、前期を上回りましたが、環境エンジニアリング事業及び海外事業において減益となり、営業利益は前期を下回りました。

なお、2025年4月1日に行われたSchwing Bioiset, Inc.との企業結合について、前中間連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

また、当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、中間連結会計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	75,657	86,532	+10,874	+14.4
営業利益	1,120	771	△349	△31.2
経常利益	1,177	436	△740	△62.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	596	64	△532	△89.3
受注高	108,836	141,745	+32,909	+30.2
受注残高	355,716	444,545	+88,828	+25.0

当社グループの事業は、環境エンジニアリング事業、システムソリューション事業、運営事業、海外事業の4セグメントに区分されています。セグメント別の業績は次のとおりです。

(環境エンジニアリング事業)

環境エンジニアリング事業セグメントは、水環境事業及び資源環境事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設向けの機械設備等の設計・建設及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

水環境事業においては、大型の建設工事が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

資源環境事業においては、大型の建設工事が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、低収益案件の影響や、保守・維持管理の売上高減少等により、営業利益は前期を下回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	19,280	23,776	+4,495	+23.3
営業利益	17	△171	△189	—
受注高	22,512	29,740	+7,228	+32.1
受注残高	104,746	124,413	+19,667	+18.8

(システムソリューション事業)

システムソリューション事業セグメントは、システムエンジニアリング事業及びカスタマーエンジニアリング事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場向けの電気設備等の設計・製造及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

システムエンジニアリング事業においては、大型の工事が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

カスタマーエンジニアリング事業においては、修繕工事が順調に推移し、売上高は前期と同水準となり、また、一部案件の損益改善により、営業利益は前期を上回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,277	18,026	+748	+4.3
営業利益	△2,210	△1,851	+359	—
受注高	40,910	37,367	△3,542	△8.7
受注残高	94,959	116,394	+21,434	+22.6

(運営事業)

運営事業セグメントは、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設の運営事業を主たる業務としています。

主にメタウォーターサービス株式会社の業績が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	12,495	13,605	+1,109	+8.9
営業利益	502	1,059	+557	+110.9
受注高	18,154	27,730	+9,575	+52.7
受注残高	108,678	132,277	+23,598	+21.7

(海外事業)

海外事業セグメントは、海外の浄水場・下水処理場向けの施設・設備の設計・建設及び保守・維持管理並びに民需事業を主たる業務としています。

主にAqua-Aerobic Systems, Inc.の業績が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、Schwing Bioset, Inc.における低収益案件の影響により、営業利益は前期を下回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	26,603	31,124	+4,520	+17.0
営業利益	2,811	1,734	△1,077	△38.3
受注高	27,258	46,906	+19,648	+72.1
受注残高	47,332	71,459	+24,126	+51.0

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,906百万円減少し、214,385百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ16,426百万円減少し、146,727百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定(有形)並びに関係会社株式が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ10,530百万円増加し、67,600百万円となりました。

流動負債は、契約負債が増加しましたが、買掛金並びに電子記録債務が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6,995百万円減少し、72,264百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ432百万円増加し、47,315百万円となりました。

純資産は、配当金の支払により繰越利益剰余金が減少しましたが、為替換算調整勘定並びに非支配株主持分が増加したことなどから前連結会計年度末に比べ656百万円増加し、94,806百万円となりました。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は46,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ、20,020百万円増加しました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益419百万円、棚卸資産の増加による支出7,356百万円、仕入債務の減少による支出16,221百万円の一方、売上債権及び契約資産の減少による収入41,764百万円などにより、営業活動に伴う資金の増加は32,535百万円となりました(前年同期比735百万円増)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出7,626百万円、投資有価証券の取得による支出2,654百万円などにより、投資活動に伴う資金の減少は11,273百万円となりました(前年同期比4,657百万円減)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出355百万円、配当金の支払による支出1,530百万円などにより、財務活動に伴う資金の減少は1,406百万円となりました(前年同期比3,639百万円増)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績及び事業環境を勘案した結果、2026年4月24日に公表しました2027年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正します。

2027年3月期の通期連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	240,000	15,000	14,500	10,000	229.04
今回修正予想(B)	245,000	17,500	17,300	12,000	274.69
増減額(B-A)	5,000	2,500	2,800	2,000	45.65
増減率(%)	2.1%	16.7%	19.3%	20.0%	19.9%
(参考)前期連結実績 (2026年3月期)	209,844	12,879	13,175	9,136	209.30

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,266	47,289
受取手形、売掛金及び契約資産	109,932	68,771
仕掛品	2,070	8,410
貯蔵品	12,244	13,583
その他	11,640	8,672
流動資産合計	163,154	146,727
固定資産		
有形固定資産	13,835	21,670
無形固定資産		
のれん	3,890	3,756
顧客関連資産	6,389	6,301
公共施設等運営権	800	775
その他	11,718	11,664
無形固定資産合計	22,798	22,497
投資その他の資産	20,436	23,433
固定資産合計	57,070	67,600
繰延資産	67	57
資産合計	220,292	214,385

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,356	16,887
電子記録債務	8,213	3,636
短期借入金	-	36
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	711	576
未払法人税等	2,925	662
契約負債	19,495	32,074
完成工事補償引当金	2,435	2,762
受注工事損失引当金	1,227	1,003
その他	14,893	14,624
流動負債合計	79,259	72,264
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,017	5,582
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	13,883	13,662
退職給付に係る負債	4,665	4,651
その他	3,316	3,418
固定負債合計	46,882	47,315
負債合計	126,142	119,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	9,562	9,602
利益剰余金	61,207	59,741
自己株式	△1,161	△1,112
株主資本合計	81,554	80,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	166
繰延ヘッジ損益	174	221
為替換算調整勘定	6,057	7,684
退職給付に係る調整累計額	1,569	1,653
その他の包括利益累計額合計	7,964	9,725
非支配株主持分	4,631	4,902
純資産合計	94,150	94,806
負債純資産合計	220,292	214,385

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	75,657	86,532
売上原価	59,174	66,765
売上総利益	16,483	19,766
販売費及び一般管理費	15,362	18,995
営業利益	1,120	771
営業外収益		
受取利息	167	162
受取配当金	168	168
持分法による投資利益	39	-
為替差益	25	-
その他	3	46
営業外収益合計	404	377
営業外費用		
支払利息	286	281
持分法による投資損失	-	123
固定資産処分損	2	65
為替差損	-	195
その他	58	46
営業外費用合計	347	712
経常利益	1,177	436
特別損失		
システム移行関連費	13	17
特別損失合計	13	17
税金等調整前中間純利益	1,164	419
法人税等	389	154
中間純利益	774	265
非支配株主に帰属する中間純利益	177	201
親会社株主に帰属する中間純利益	596	64

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	774	265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△1
繰延ヘッジ損益	74	135
為替換算調整勘定	△1,833	1,628
退職給付に係る調整額	△14	76
持分法適用会社に対する持分相当額	-	8
その他の包括利益合計	△1,719	1,848
中間包括利益	△944	2,113
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,170	1,824
非支配株主に係る中間包括利益	226	288

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,164	419
減価償却費	1,588	1,903
のれん償却額	181	257
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	127	△14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△60	△102
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	176	248
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	70	△223
受取利息及び受取配当金	△336	△330
支払利息	286	281
為替差損益(△は益)	△25	195
固定資産処分損	2	65
持分法による投資損益(△は益)	△39	123
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	51,815	41,764
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3,031	758
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,109	△255
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,011	△7,356
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,434	△16,221
契約負債の増減額(△は減少)	9,493	12,278
その他	△2,397	1,659
小計	33,462	35,451
利息及び配当金の受取額	336	330
利息の支払額	△283	△296
法人税等の支払額	△1,716	△2,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,799	32,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	65	△2
有形固定資産の取得による支出	△2,198	△7,626
無形固定資産の取得による支出	△1,775	△972
投資有価証券の取得による支出	△88	△2,654
投資有価証券の売却による収入	2	-
新規連結子会社の取得による支出	△2,618	-
貸付けによる支出	-	△4
貸付金の回収による収入	36	36
その他	△39	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,615	△11,273

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	36
短期借入金の返済による支出	△3,540	-
長期借入れによる収入	-	564
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済 による支出	△400	△355
配当金の支払額	△1,134	△1,530
非支配株主からの払込みによる収入	-	68
非支配株主への配当金の支払額	△1	△85
その他	30	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,045	△1,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△890	164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,247	20,020
現金及び現金同等物の期首残高	35,683	26,736
現金及び現金同等物の中間期末残高	54,930	46,757

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
(税金費用の計算)	税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、見積実効税率が使用できない連結会社については法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,280	17,277	12,495	26,603	75,657	—	75,657
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,280	17,277	12,495	26,603	75,657	—	75,657
セグメント利益又は 損失(△)	17	△2,210	502	2,811	1,120	—	1,120

- (注) 1. セグメント利益又は損失は営業利益ベースの数値であり、中間連結損益計算書の営業利益の数値との間に差異はありません。
2. 前中間連結会計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、Schwing Bioset, Inc. の株式の100%を取得し連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。前中間連結会計期間において、当該事象によるのれんの増加額は、1,296百万円であります。なお、当該のれんの増加額は、「注記事項(企業結合等関係)」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,776	18,026	13,605	31,124	86,532	—	86,532
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,776	18,026	13,605	31,124	86,532	—	86,532
セグメント利益又は 損失(△)	△171	△1,851	1,059	1,734	771	—	771

- (注) セグメント利益又は損失は営業利益ベースの数値であり、中間連結損益計算書の営業利益の数値との間に差異はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2025年4月1日に行われたSchwing Bioset, Inc.との企業結合について、前中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額4,048百万円は、取得原価の配分額の確定により1,296百万円となりました。のれんの減少は、顧客関連資産が2,443百万円、技術関連資産が807百万円、繰延税金負債が724百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が24百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益がそれぞれ24百万円減少し、親会社株主に帰属する中間純利益が7百万円減少しております。また、前中間連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて、税金等調整前中間純利益が24百万円減少し、減価償却費が70百万円増加し、のれん償却額が45百万円減少しております。